

管理者所見（26年度反省、27年度決意）

26年度の活動状況を振り返り、職員と利用者の入れ替わりが多くありました。7月に管理者が交代、新体制になり利用者の過し方をグループホーム・小規模の合同運営から、各施設の役割を明確にする分担化に取り組みました。情報共有が現在も課題となっていますが、明確にしたことで、各フロアーを活用していく運営の幅が広がりました。

10月には、感染症疥癬が利用者・職員間で発症（感染源はご利用者より）約1ヶ月の感染症対応におわれましたが、良き経験と捉えて今後の感染症予防に努めてまいります。

27年度は、登録者の拡大とサービスの質の向上を目標に、登録20名の拡大維持と制度の改定に伴い、短期利用（登録外の方がショートステイの利用）を受け入れ、登録になげているように、職員のスキルアップをし、ご利用者に喜んでいただける介護を実践してまいります。あーよかった 福田広志